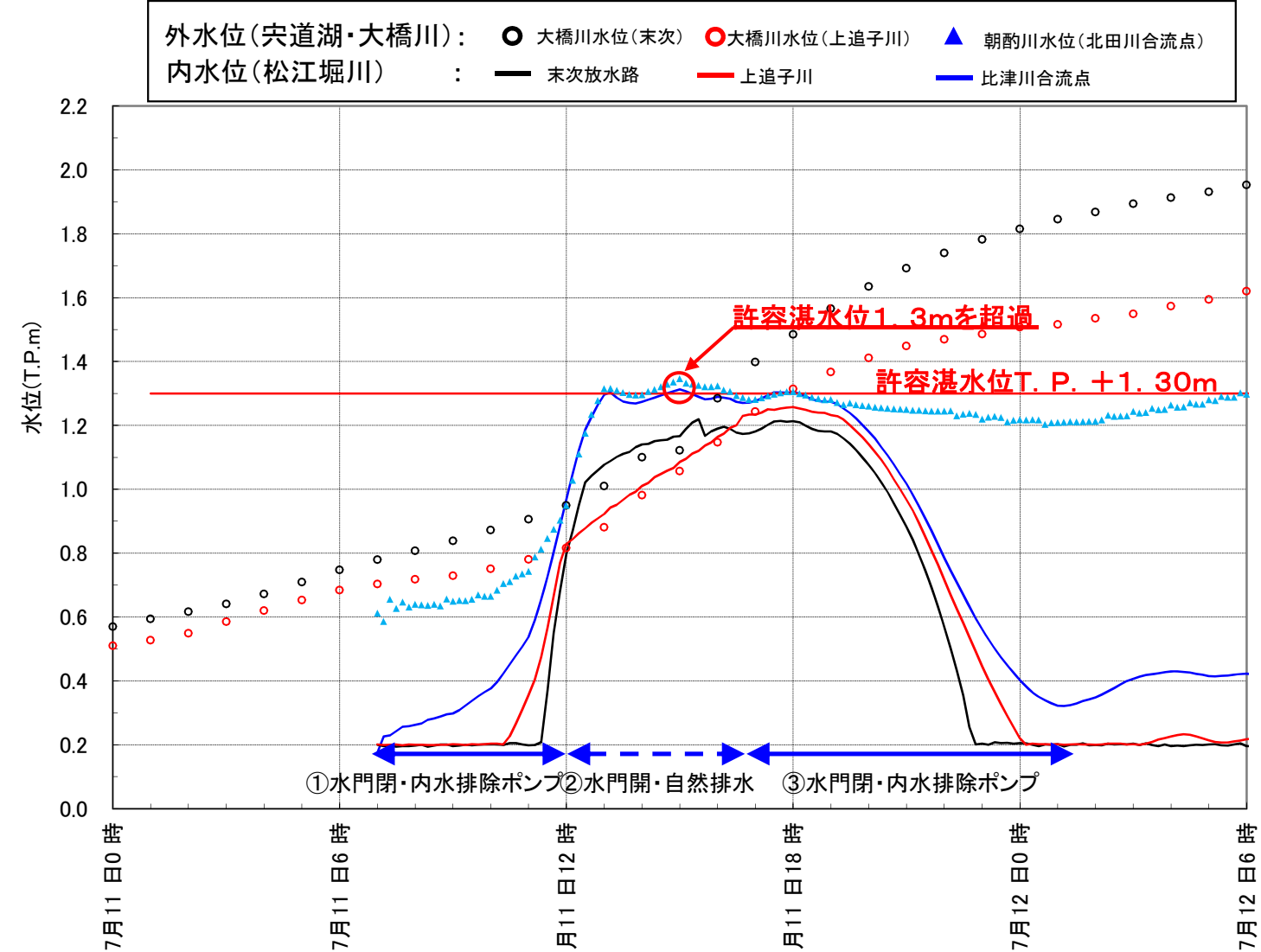


河川整備計画(大橋川)段階(今後20年間の計画)

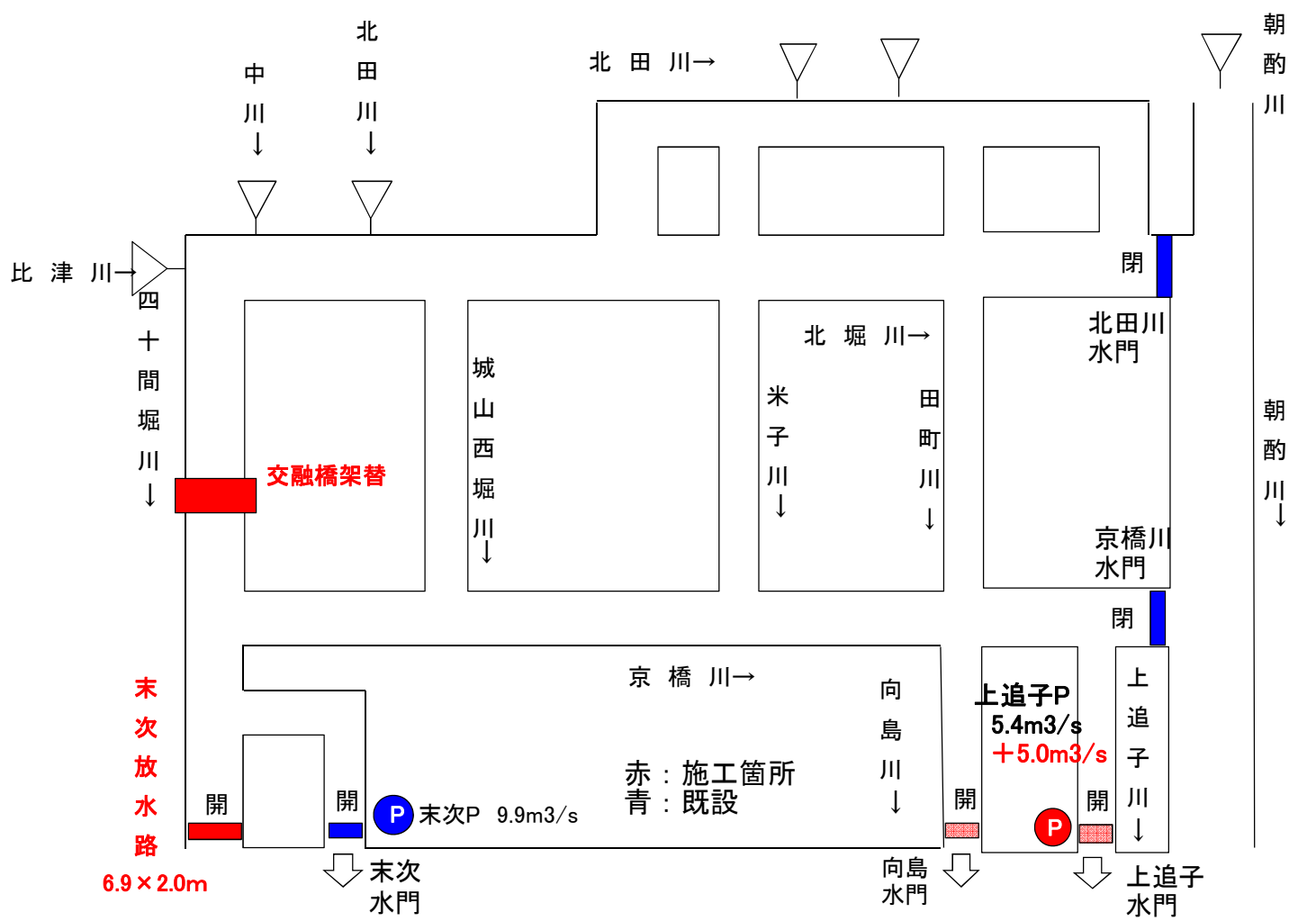
既存内水排除ポンプ(15.3m³/s)+上追子川ポンプ(5.0m³/s)増設

- 【自然排水時】許容湛水位T.P.+1.3mを超過。
 → 自然排水時は、ポンプは稼動していないため、更なるポンプ増設では水位低下は望めない。
 (前回の検討結果は資料2参照)
- 遊水池案は、洪水調節効果が得られる水田を選定していることから、これ以上増やしても、効果の増加は望めない。
 - 北田川中流区間部分改修案は、現在の計画断面をこれ以上に広げても、効果の増加は望めない。
 - 放水路案については、パブリックコメントも踏まえ、実現可能な範囲で放水路幅を最大限広げた(6.90m)案で追加検討を行った。
 → 他案と比べ、超過する水位の低下、時間の短縮が図られたが、T.P.+1.30mは下回ることができない。



末次放水路新設6.9mにおける比津川合流点の水位

内容	最高水位	時間帯	超過時間
末次放水路(6.90m) + 交融橋案	1.31m	15時00分~15時10分	(10分)



○比津川合流地点においては、水位がT.P.+1.30mを完全には下回ることができないが、放水路幅を広げることにより一定の水位低減効果が見られる。